

# 一般質問

6月14日、15日、16日の3日間にわたって一般質問が行われました。一般質問とは市政全般について市当局の考えなどを聞くもので、24人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。  
会派名および質問方式は略称です(正式名称は欄外参照)。

市議会ホームページやYouTube福岡市議会チャンネルで議員と市当局の実際のやりとりがライブと録画でご覧いただけます!



福岡市議会 検索

**問** 善意で救われる命が増えるよう臓器移植について啓発を

**答** 臓器移植を希望する人は増えても、臓器移植の数が足りないのは、意思を生かす仕組みが整っていないからである。善意をつなげる仕組みを整えつつ、市民一人一人に移植医療への正しい知識を広げることで、救われる命が増えると思うが所見を。

**問** 臓器移植によって救われる命を増やしていくため、臓器移植に関する正しい知識の普及とともに、市民の臓器提供の意思を生かす「臓器提供意思表示カード」等について広く周知できるように、引き続き県や関係機関と協力して市民への啓発に取り組んでいく。

**問** 若者のひきこもりに対して隔々まで届く支援を

**答** 若者のひきこもりについて、どこに相談でき、どのような支援が行われているのか分かってにくい。一人一人に寄り添った切れ目のない支援を行うため、相談窓口や支援機関の情報を集約したパンフレットの作成や電子メールでの相談などについて検討すべきと考えるが所見を。

の広報物の配布、関係機関などを通じて行っている。今後、支援機関の情



福岡市ひきこもり成年地域支援センター(よかよかルーム)

報のマップ化等の分かりやすい情報提供や、電子メールでの相談について検討し、本人・家族の支援に粘り強く取り組んでいく。

**問** ICT導入・活用による英語学習環境のさらなる向上を

**答** 小中学校における英語教育の肝は、英語を聞く・話す機会をどれだけ与えられるかに尽きる。他都市のタブレット端末やパソコンを活用したオンライン英会話の手法は一考に値するが、本市もICT導入・活用により英語学習環境のさらなる向上を図るべきではないか。

において、コンピュータ情報通信ネットワークなどを有効活用し、児童の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動のさらなる充実を図ることとされており、今後、英語学習環境の充実について検討する。

**問** 医療的ケアを必要とする子どもの保育の充実を

**答** 医療的ケアを必要とする子どもが障がいや理由に保育園に預けられないような状況は早急に解消しなければならぬ。長時間保育の実現など、保護者の就労を支えるための体制の整備が必要と考えるが所見を。

**問** 医療的ケアが必要な子ども

**答** 医療的ケアが必要な子どもが開始されており、その実施状況等も踏まえ検討を進める。今後とも子どもの健全な成長発達や安全に留意し、子育てしながら働き続けることができる環境づくりに努めていく。

**問** 福岡の食文化の継承と産業振興のための安全な鳥刺しの提供を

**答** 本市は鶏肉の生食を禁止しているが、食中毒の問題があるからと安易に禁止していけば、食べられるものは限られ、食文化や産業も衰退してしまふ。地域振興や食文化を守るとの観点から、美味しく安全な鳥刺しの提供に市として取り組んでもらいたい。決意を問う。

**問** 本市の食文化を守り、観光資源として磨きあげていく

**答** 本市の食文化を守り、観光資源として磨きあげていくうえで、食の安全・安心の確保への取り組みは重要であり、責務も重大である。鳥刺しを含めた鶏肉の安全な提供について、安全性向上や地域振興

に向けた施策とあわせスピード感を持ってしっかりと取り組む。

**問** 中学校の制服は時代の变化を見据えたものに

**答** 中学校の制服については、運動機能性や価格、性的マインリティーの生徒への配慮など時代の変化を見据え、校長会に標準服の決定を任せるといふ従来の立場から一歩踏み出し、教育委員会として幅広い意見を集約・尊重し、責任ある対応をすべきではないか。

**問** 制服は、全中学校の校長の申し合わせで標準服を定め、各学校が採用している。今後、各学校が制服を見直す際は、標準服の意義を考慮しつつ、学校の特色や生徒・保護者等の意見を尊重し、性的マインリティーの課題への対応を含め、柔軟に検討するよう指導していく。

**問** 特別支援学校高等部生徒への通学支援を

**答** 特別支援学校高等部の生徒は、通学にスクールバスを使用せず、市の移動支援サービスも利用できない。付き添いのため両親のどちらかが社会参加をあきらめるようなことなどあつてはならず、自力通学への支援を移動支援メニューに組み入れるべきではないか。

**問** 障がいのある人が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮し、地域や家庭で生き生きと生活できるまちづくりを目指している。今後の移動支援のあり方については、通学の支援等の内容を含め、より一層利用しやすい制度とするため、しっかりと検討する。

**問** 地域の野良猫問題を解決するため条例改正等をすべきでは

現行の法律や条例の規定では、実効的な野良猫対策が取れるのか疑問である。野良猫に関する苦情を減らすとともに、さまざまな猫にまつわる問題を解決するため、本市も条例によるエサやりなどの規制を検討すべきではないか。

**問** 当面は、猫との共生ガイドラインを用いて、野良猫との適切な関わり方についての指導啓発に努めていくが、来年度に予定される法改正の内容や、他都市の動向を注視しながら、規制のあり方も含め、問題解決のための方策について、今後とも検討していきたい。

**問** 市長は空港への出資に関する委員会の明確な意思を不服として、自ら再議に付したにもかかわらず、説明責任を果たさず陰で議員へ圧力をかけるなどした。また、議長からの議会の総意としての委員会出席要請を何度も踏み付けたことは議会軽視であり謝罪すべき。

**問** 新たな空港運営会社への出資に関して、議員に対し説明や第三者を介して圧力をかけるようなことは行っていない。委員会への出席要請については、必要性を判断する材料が提示されなかったものであり議会軽視にはあたらない。

**問** 福岡空港の民間委託後の運営に

**答** 福岡空港の民間委託後の運営に對する市民の不安を解消するため、本市は地元自治体の責務として、国や県、運営権者と同等の立場で発言し、その声が反映できる枠組みを具現化するとともに、市は、議会と議論を深め、周辺住民と

膝をつき合わせて協議すべきでは。適正な空港運営を担保する仕組みが機能するよう国に求めるとともに、運営権者との協議の場の設置や県との相互連携を図っていく。また、新たな制度である民間委託の内容や委託手続きの進捗等について、議会や市民へ適宜、情報提供し、周知に努めていく。

**問** 博多湾における油流出等への災害対応力の強化を

**答** 本年4月に博多湾の貨物船から出火し、油が流出する事故が発生した。博多湾において油流出などが起きたときでも、市民が安心感を持って生活できるように、市は今回の教訓をどのように生かし、災害対応力の強化を目指すのか。

**問** 今回の油流出を受けて、資材流出に対応するマニュアルの見直しの必要性を感じるとともに、博多湾に精通する市漁協や市港湾建設協会等との連携強化が重要との教訓を得た。これらの関係機関との連携強化を通じ、博多湾における災害対応力を強化していく。

**問** ブラックバイトやブラック企業を規制する条例の制定を

**答** ブラックバイトやブラック企業を根絶するため、直ちに実態調査を行い、相談や啓発活動を抜本的に改善すべきである。また、若者の使い捨てをなくし、経済の健全な発展を図るため、ブラック企業を規制する条例を制定すべきと思うが所見を。

**問** ブラックバイト、ブラック企業問題は絶対に許してはならないと認識しており、その根絶に向けては、社会全体で取り組むこと

自民新...自民党新福岡 緑・ネ...緑と市民ネットワークの会 一括...一括質問・一括答弁方式 一問...一問一答方式 併用...1回目一括質問・一括答弁方式、2回目以降一問一答方式